

(一社)日本計画行政学会関西支部 2021 年度研究大会

シンポジウム② テレワーク・サテライトオフィス推進について

日 時：2021 年 12 月 11 日（土）16：30—17：00

和歌山県企業立地課 副主査 坂野悠司氏

和歌山県庁の坂野です。よろしくお願ひします。和歌山県は IT 企業誘致に積極的に取り組んでいます。コロナで若干、その動きは変わりつつあります。そこを中心にアフターコロナ時代のニューワークライフスタイルについて発表します。

先ほども隅田様からご発表がありましたが、コロナをきっかけに働き方がドラスチックに変化してきました。その中でオフィスが不要といった意見もありますが、和歌山県としてはオフィスの需要は一定程度、残るだろうと考えています。また、首都圏でなくてもできる仕事があることが、コロナをきっかけに分かってきました。そのような業務は首都圏ではなく、和歌山でしていただくことを勧めたいと思ひました。

これまで首都圏では、住居と職場が遠く、長距離通勤をしながら、密な状況で仕事をしていました。しかし、コロナ禍になり、和歌山のような地方でできる業務については、職場と住居が近い状態で快適に過ごし、仕事の生産性も上がるような生活が理想的ではないでしょうか。われわれはそのような提案をしています。

今回は大きく分けて三つの話をします。1 点目は和歌山県のビジネス環境の強みについて。2 点目は和歌山県の生活環境の強みについて。3 点目は和歌山県の新しい動きについてです。

1 点目のビジネス環境の強みです。和歌山県は、実は首都圏からのアクセスがよく、県内の南紀白浜空港は羽田空港から 1 日 3 便が運行しており、約 1 時間で来られる環境です。京阪神からもアクセスが良好で、関西国際空港から車で、40 分程度で、関西国際空港からも、大阪からのアクセスもよい環境です。

隅田氏の発表にもあったように、地方はオフィスの賃料が格安ですので、サテライトオフィスなどを設けると事業が立ち上げやすいというメリットもあ

ります。また、通信環境もよく、和歌山県は Wi-Fi の密度のランキングでも全国 2 位です。私たちは IT 企業誘致をしています。コロナ禍で企業がサテライトオフィスを設ける事例が増えました。白浜町ではコロナ禍の令和 2 年に 4 社が進出しました。本年度も 10 月末時点で 1 社が進出しています。

特徴的な事例では、外資系大手の株式会社セールスフォース・ドットコムも白浜町に進出しています。業務は東京と同じで内勤営業をしていて、商談件数では本社よりも 20 パーセント高い成果を出し続けています。コロナ前と比べると、通勤時間が月 64 時間削減されたことにより、余った時間を自己投資や社会貢献、地域交流などに使い、仕事にもいい影響が出ているとオフィス長から聞きました。

私たちは起業に和歌山県へ進出していただき、東京での業務をこちらで行うだけではなく、地元企業との連携も積極的に進めています。事例として NEC グループが地元のホテルや商業施設などと連携し、顔認証でキャッシュレス決済したり、顔認証でホテルにチェックインしたりする実証実験をしています。また、IoT 関係の事業をしている企業が空港で 3 密を可視化し、アプリ上でその状態を確認できるようなソリューションを進めています。

全国自治体によるワーケーション協議会なども、和歌山県と長野県が音頭を取り、組織をつくりワーケーションの普及に努めています。和歌山県のビジネス環境の強みとして、進出した企業には各種奨励金でサポートし、あるいはコロナ禍になり淡路島にパソナが来て多数の方が移住した事例も見据え、大規模なオフィスを設けた場合の新たな制度も、昨年に設けました。

2 点目の和歌山県の生活環境の強みについて、コロナ以前はこのような住環境を PR することはあまりありませんでしたが、移住してもらうことも見据え、このような提案もしています。住宅の価格も首

都圏と比べると、安く、広く、新しい家にも住めます。万全な医療体制が整っており、和歌山県全てのコロナにかかった可能性のある方、あるいは検査で陽性の方は入院またはホテル待機ができて、コロナを抑え込むことができます。

IT系の企業が進出するときに教育機関を紹介することも多くあります。全国に先駆けてICT教育を小中高で始めており、県内の各種教育機関と連携し、IT人材の就職先として紹介もしています。帰宅時間が早いことや、待機児童数も少ないことなど、住みやすさを紹介することも多いです。

最近、政府も転職なき移住を進めていますが、和歌山県も推進しており、先日は富士通株式会社とワーケーション・移住に関する協定を結びました。実際に富士通の社員が和歌山県に来て、地域の課題解決につながる取り組みをする内容です。

最新の和歌山県の情報を紹介します。白浜町はワーケーションやIT企業誘致が進んでいます。日本の最南端の串本町では、日本初の民間ロケット発射場が建設中で、2022年には1発目のロケットを打ち上げる予定です。2025年には年間20発のロケットの打ち上げを予定しており、ロケット関係の産業の集積やロケットの打ち上げを見に来る観光客の誘客に向けて、現在は取り組んでいます。新たな工業団地を造っている地域もあり、これから、未来ある和歌山に向けて進んでおり、個人的にも楽しみな部分もあります。これで私の発表を終わります。